

1. 小松市が目指す地域公共交通の姿と基本方針

本市における地域公共交通の目指す将来像として、実現すべき姿は以下のとおりです。
将来像が実現した場合の市民生活等の暮らしのシーンをイメージしながら、施策や事業等を進めていきます。

誰もが、気兼ねなく、スマートに、お出かけができる こまつ

【誰もが】
誰もが困ることなく、迷うことなく、障壁なく移動できるまち

【気兼ねなく】
自分らしく暮らし続けることができるまち

【スマートに】
地域を支える移動サービス実現へのチャレンジを続けるまち

基本方針1
くらし・交流をしっかりと結ぶ公共交通網づくり

基本方針2
誰もが移動できる環境づくり

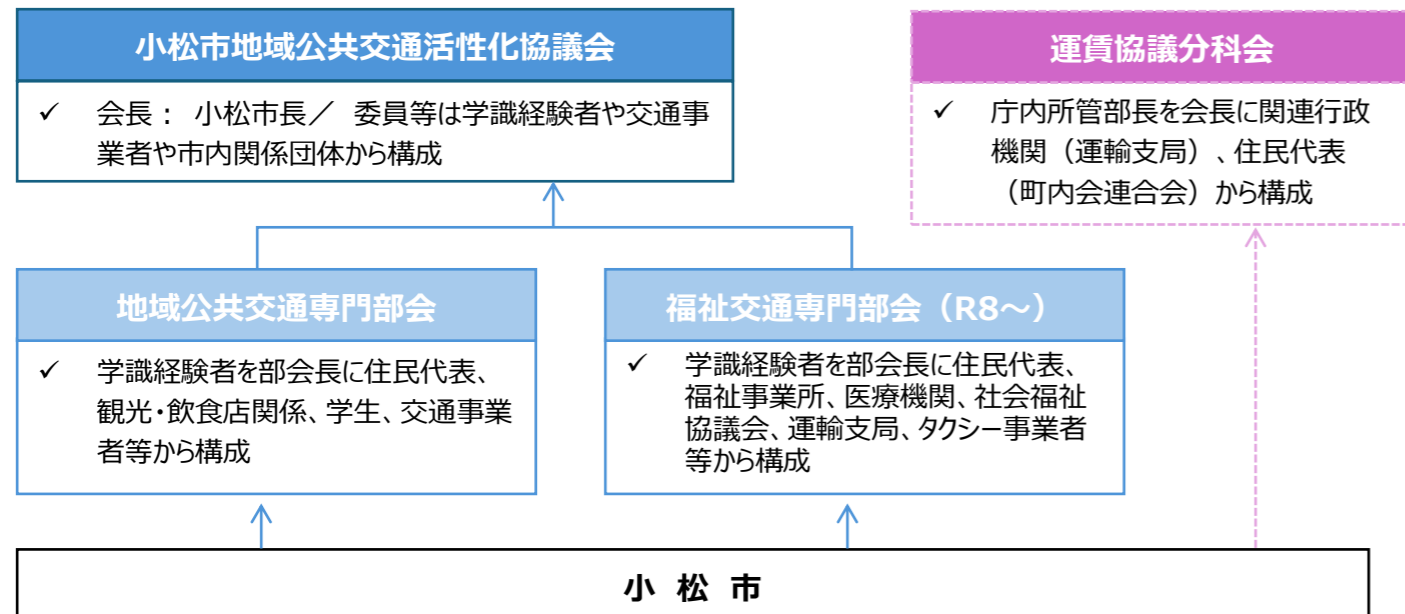
基本方針3
未来へ続く地域交通の仕組みづくり

2. 地域公共交通アップデートに向け留意すべき事項

人口減少等の社会情勢の変化、ウェルビーイングの考え方を取り入れた政策推進を踏まえ、本市におけるまちづくりのビジョンを地域公共交通分野から実現するために、地域公共交通計画を策定します。

社会等の情勢	小松市のビジョンでの位置づけ	アップデートの視点・プロセス
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 人口減少と高齢化の進行 ✓ 生活の質やウェルビーイングの向上 ✓ 通院・通学・買物・社会参加を支える基盤づくり ✓ 地域交通の担い手の確保 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 誰もがどこからでも目的の場所にたどり着く交通 ✓ スムーズな移動の実現 ✓ 目的地まで誰とでも一緒に移動できる 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ ワークショップや部会、ヒアリング等の膝をつき合わせた議論等を踏まえた検討 ✓ 現状からの施策検討から「目標志向型」の施策立案へ

3. 計画の推進体制



4. 施策・事業

施策方針	施策	実施主体	取組内容
【施策方針1】 持続可能な公共交通ネットワークの構築	①幹線バスの選定・見直し ※主に路線バス <i>利便増進実施計画で具体的に検討</i>	小松市、北鉄加賀バス、北鉄白山バス	・利便増進実施計画等の作成、幹線バスの選定 ・事業者や関係者等との協議・合意形成 ・計画に基づく路線等の再編（順次実施）
	②バスの運行ルート効率化 ※主にコミュニティバス <i>利便増進実施計画で具体的に検討</i>	小松市、日本海観光バス	・利便増進実施計画等の作成 ・事業者や地域住民等との協議・合意形成 ・市内循環線、木場潟線の再編
	③拠点、バス停の待合環境の向上	小松市、施設等管理者	・拠点や改善すべきバス停等の選定 ・待合環境の整備等（整備可能な箇所から順次）
	④パターンダイヤ・タクトダイヤの導入 <i>利便増進実施計画で具体的に検討</i>	小松市、IRいしかわ鉄道、北鉄加賀バス、北鉄白山バス、日本海観光バス	・導入可能性の検討（ダイヤ、車両配置等） ・パターンダイヤ・タクトダイヤの導入
	⑤駅・空港間自動運転バス（レベル4）の実装	小松市、北鉄加賀バス	・レベル4に向けた実証実験・試験走行、許認可取得手続き ・R9年度中の全区間レベル4許認可取得、レベル4路線バス運行開始 ・小松市レベル4モビリティ・地域コミティにおける協議、検証等
【施策方針2】 利便性の高い誰もが使いやすい公共交通の実現	⑥交通空白解消のための交通サービスの導入 <i>利便増進実施計画で具体的に検討</i>	小松市、民間事業者（タクシー事業者、公共ライドシェア、シェアサイクル等管理事業者）	・交通空白地の整理、必要なサービスの検討 ・運行スキーム等の検討、地域や関係者との合意形成 ・サービス等の導入（順次）
	⑦少量乗合交通の導入 <i>利便増進実施計画で具体的に検討</i>	小松市、民間事業者（公共ライドシェア、タクシー事業者等）	・実証実験の実施（南部）、他エリアへの拡大検討 ・事業者や地域住民等との協議・合意形成、他エリアへの拡大
	⑧乗合タクシーのサービス水準の見直し <i>利便増進実施計画で具体的に検討</i>	小松市、市内タクシー事業者	・乗合タクシーの見直し（結節点、運行エリア等） ・地域や関係者との合意形成 ・サービス等の見直し
	⑨福祉分野における移動サービスのアクションプランの作成	小松市、市内タクシー事業者、小松市社会福祉協議会	・福祉部会での協議、アクションプラン作成 ・実施事業の検討、関係者協議 ・事業実施（順次）
	⑩福祉タクシー・介護タクシーのドライバー研修等の実施	小松市	・研修等の実施
	⑪拠点等における観光サイン等の整備	小松市	・設置箇所、設置内容の検討 ・観光サイン等の設置
	⑫シェアサイクルの利便性向上	小松市、民間事業者（シェアサイクル管理事業者）	・ポート等の適正配置等の利便性向上策の実施
	⑬MaaSへの対応検討	小松市	・MaaS部会等の設置、MaaS推進の方向性の検討 ・必要なMaaSサービスの検討と実装
	⑭バスロケーションシステムの運用	小松市、北鉄加賀バス、北鉄白山バス、日本海観光バス、民間事業者（バスロケーションシステム導入事業者）	・バスロケーションシステムのモニタリング（R7導入したシステムの検証・改善）
	【施策方針3】 公共交通の基盤を支える人材面・財政面からの支援	⑮路線バスの補助金の見直し	小松市
⑯ドライバー確保に向けた対策		小松市、北鉄加賀バス、北鉄白山バス、日本海観光バス	・ドライバー確保に向けた広報活動の実施 ・ドライバー育成事業の実施支援
⑰らく賃バスポート制度の見直し <i>利便増進実施計画で具体的に検討</i>		小松市	・サービス水準等の見直し ・デジタル化・キャッシュレス化等に向けた手法検討
⑱地域が主体となって行う移動サービスへの支援の継続		小松市、地域団体等	・地域主体の移動、サービス等の実態把握 ・共助版ライドシェア・デマンド交通等の実証実験 ・共助版ライドシェア・デマンド交通等の実装
⑲公共ライドシェアのタクシーとの共同運営の実施		小松市、市内タクシー事業者	・タクシー事業者との共同運営開始 ・共同運営の実施
⑳公共交通の利用促進に向けた住民主体の取組支援		小松市、地域団体等、各種交通事業者	・住民主体の取組の支援（ワークショップ等の開催）

5. 将来ネットワークイメージ

幹線バス

小松駅を基点に、「安宅の関」、「小松空港」、「栗津駅」、「イオンモール新小松・やわたメディカルセンター・西軽海団地」、「国府台団地」、「能美市寺井・辰口方面」の6路線を幹線に位置づけ

- 主要6路線は小松駅と各拠点をつなぐピストン型路線として想定
- 小松駅からタクトダイヤ・パターンダイヤの導入を検討
- 小松駅・商業高校間及び能美市寺井・辰口方面は、朝夕通学時間帯で通学ライナーの運行を検討
- 能美市寺井・辰口方面をつなぐ地域間幹線路線の効率化と利便性向上

地域間幹線バス

小松市と隣接自治体をつなぐ地域間幹線バスは利用状況やニーズを踏まえ、隣接自治体との協議のもと路線の効率化や強化を検討

- 寺井・辰口方面: 寺井線・佐野線・小杉線が運行し、利用状況を踏まえ、運行効率化

※鳥越方面: 利用が限られるため、通学状況等を勘案しながら、運行効率化等を検討(5年以内に廃止等を検討し、その後はオンデマンド交通等の導入を検討)

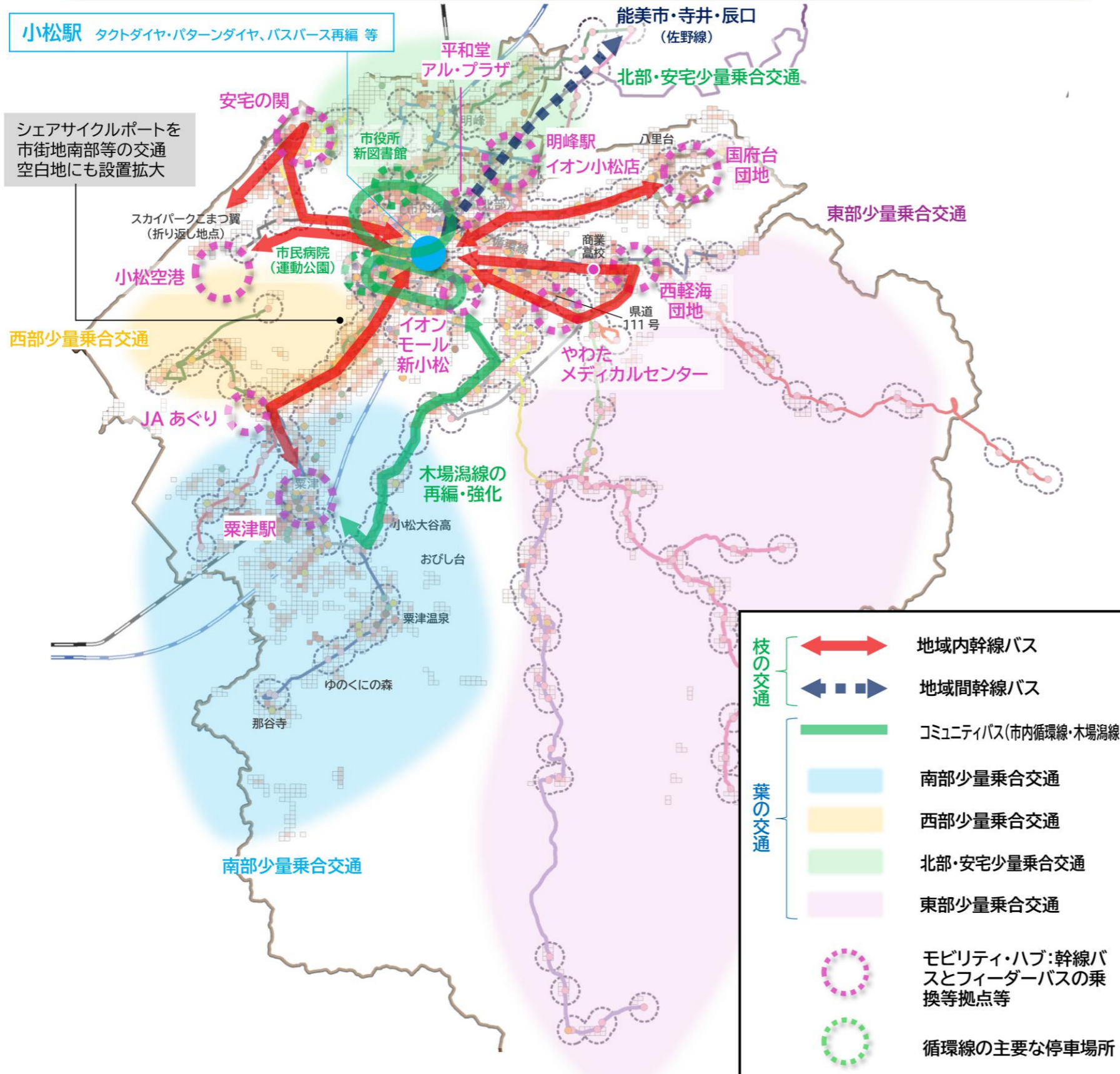
ライドシェア等の少量乗合交通

駅及びその他拠点と各地域をきめ細やかにつなぐ路線及びライドシェア・オンデマンド交通等の少量乗合交通の導入

- 符津・矢田野・栗津・那谷・月津校下などを対象(現在、実証実験中)
- 日末・串・今江校下などを対象(地域主体の乗合ワゴン運行中)
- 安宅・犬丸・荒屋・稚松・能美校下などを対象(稚松校下では買物支援等を実施)
- 松東エリア・中海校下を対象(乗合タクシー等運行中)

〔小松市の地域公共交通の将来像〕

誰もが、気兼ねなく、スマートに、お出かけができる こまつ



コミュニティバス(市内循環線・木場湯線)

市内をコンパクトに巡回することができる循環線と小松駅-小松大谷高校-栗津駅を効率的に接続する木場湯線の再編

- 循環線: 小松駅を中心に、市街地の主要施設コンパクトに巡る2路線を検討(北ルート: 市役所・新図書館・平和堂等、南ルート: 市民病院・イオンモール等/乗換拠点は「小松駅(東口等)」想定)
- 木場湯線: 小松駅と小松大谷高校、栗津駅をつなぐ路線(現行路線のメディカルセンター便は他路線等で代替)、定期的に那谷寺に向かう観光路線の運行も検討

鉄道駅(小松駅・栗津駅・明峰駅)

IRとの乗り継ぎ利便性の向上や拠点としての空間等の整備を推進

- 小松駅: タクトダイヤ・パターンダイヤの導入(IR接続向上)
- 栗津駅: 地域利用を見据えた待合空間等の整備
- 明峰駅: 待合空間の整備、自転車置場の拡充

その他拠点

幹線バス及びフィーダーバス、他の交通モード等との乗換利便性の向上を図るための拠点整備を推進

- (地域間の接続)
- イオン小松店: 寺井方面のバスとの接続性を向上
 - 明峰駅: 金沢市・加賀市等、市外からのアクセス性を向上

- (地域内における主な拠点)
- 安宅の関: 地域住民及び観光等の利用を見込み、安宅線を維持・強化、安宅新町方面のアクセス強化
 - 小松空港: 空港線は、自動運転バスの運行により維持・強化
 - イオンモール新小松: 循環線と木場湯線等の接続拠点、市内各方面からのアクセス性を向上
 - JA あぐり: 月津・日末方面における拠点、幹線バスと地域乗合ワゴン等の乗換やサイクル&ライド等の検討
 - やわたメディカルセンター: 小松駅との接続を強化し、松東地区への接続拠点
 - 栗津駅: 栗津駅を基点に、栗津温泉方面、木場湯方面等へのアクセス性向上